

北辰 13期生
118回 2016 10.19
「歩こう会」

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

貝塚・寺内町散策

10月19日 午前10時、南海貝塚駅に集まったのは、坂野岡田、谷村、向井さん等6人でした。幹事の向井さんの案内で散策しました。

貝塚寺内町は、一向宗の町作りから始められ、織田信長に攻められ焦土化しましたが復興し本願寺御堂となり江戸時代には町は寺領となり今では、国の重要文化財に指定されています。貝塚駅近くの石標に「建より海塚領」とあり昔は海塚と記されていきました。先ず貝塚寺内町の産土神である感田神社に参詣しました。



感田神社南門から境内へ

境内には願泉寺を中心とした環濠城塞都市であった濠の

跡が残されています。



環濠の跡

境内から見た神門。どう見てもお寺の山門にしか見えませんが無いのが不思議です。鳥居ならず神門の前で記念写真を撮りました。



境内から神門前で

神門をくぐって驚きました。ここが感田神社の正面神門、両側に仁王様の代わりに由緒ありそうな人物像が鎮座して

いました。



神門正面で

浄土真宗本願寺派の寺院でカイツカイブキの巨木で有名な尊光寺を訪ねました。



カイツカイブキ

樹齢400年、幹の直径が60センチの巨木で市の天然記念物に指定されています。長寿にあやかり記念写真を撮りました。



巨木の前で

寺内町振興の祖、願泉寺を訪ねました。表門正面の長押うえの龍の彫刻は元禄3年に



岸上和泉守の弟子、和泉嘉右衛門によって作成された見事なものです。今回の修理で一部の彩色が復元されました。表門を潜ると目の前が



瓦のある目隠堀に遮られ本堂は見えませんが、この堀も重要な文化財のついでとして伽藍を構成する建造物です。目隠堀を越えると立派な本堂が目飛び込んで



来ました。もっともっと散策したい魅力的な寺内町でした。